

## 令和5年11月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和5年11月29日(水) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第2委員会室		
出席者	教育長	齋藤	信哉
	教育委員	小瀬川	喜井
	教育委員	福井	武久
	教育委員	西山	康巳
	教育委員	小澤	直子
事務局出席職員	教育部長	八木田	満彦
	教育部次長兼教育総務課長	鈴木	伸尚
	教育部次長	熊谷	誠二
	博物館長	小保内	裕之
	学校教育課長	寺井	健司
	教育指導課長	梅内	太郎
	社会教育課長	高橋	宣子
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	河村	雅庸
	こども支援センター所長	田端	修文
	図書館副館長	磯嶋	奈都子

## 開 会

(齋藤教育長)

定刻となりましたので、令和5年11月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、小澤委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

### 主な会議・行事等

(齋藤教育長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに、「冬のおはなし会」の開催について」事務局からの説明をお願いします。

#### 【「冬のおはなし会」の開催について】

(磯嶋図書館副館長 資料に基づき説明)

(齋藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(小瀬川委員)

休日の部活動の地域移行について、感想等も含めて少しお話したいと思います。先週の新聞において、八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会の3回目の会合についての記事が掲載されていたのですが、八戸市のホームページにおきましても1回目からの会議の議事録や資料が掲載されており、私も拝見いたしました。委員の皆様方が大変丁寧に検討してくださっていることが分かりました。小学校の部活動が愛好会になったことで見えてきた課題や実施されたアンケートの内容についても検討していたほか、費用等における負担から子どもたちの部活動への関わり方について差が出ないかどうかや大きな大会への参加の在り方など、細かいところまで検討くださっていると感じています。どうしても新聞等で断片的に情報が出てしまうと不安や疑問が生じると思いますが、1回目からの議事録を追っていくと会議で決定した経緯が分かるので、記事の見え方も違ってくるかと思えます。私自身も見出しを見て、「複数中学校で連携して開催する」と大きな字で謳われている一方で「大会前は各学校での活動も可能」とあると、学校によって休

日に部活動をやる場所もあれば連携していても活動できない学校もあるのではないかなど細かい点について不安に思うことがあります。公開されている様々なものを丁寧に追っていくと今会議で進められている段階や委員が細かい点まで検討しているということが分かるので、ここに関わる保護者や地域の皆様方にもこのホームページの情報を見る機会が増えると思います。アンケートの結果からいろいろな声があり様々な選択肢が生まれる中で、生徒や保護者、指導者、地域の皆様方の現場の声を大事にしてほしいと思います。新しいことを始めるので、令和11年度に向けて移行していく中で形を整えながら様々な課題をその都度解決しながら進められていくのだろうと注視していました。

一点懸念事項がありまして、土曜日等に周年記念式典があったように、土曜日に体育祭や運動会など学校行事があると思いますが、行事でこそ学ぶことや得られる感動もあるかと思っています。休日の部活動の地域移行が進んでいく中で、生徒の行事への関わり方、保護者が行事をどのような位置付けで捉えるのかについて、教育委員会としてお示しできることはないか、説明をどのようにするのかという点を踏まえて進めていただければと思います。

(齋藤教育長)

委員御指摘のとおり、休日の学校行事の在り方等もこれから検討していかなければならないと思っています。現在クラブに通っている子どもが約200人以上います。競技によって土曜日に試合が組まれていることが多いという話も聞いています。そういった状況で、学校によっては文化祭等の学校行事が入ってきた場合どちらを優先するのかという声も聞いています。今のところ学校によって取組は様々であり、あくまでも選択の判断は保護者と子どもにありますと対応しているところですが、多くの場合は学校行事よりもクラブ活動を優先しているようです。

八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会について今回で3回目が終了しましたが、今回は目指すべき方向性を情報共有しようということで方針を示しました。本日マスコミの方も出席されているのでこの場を借りて感謝申し上げます。誰が記事を読んでも進むべき方向が理解できるかと思っています。一方で、費用や送迎の面はどうなるのかという問題がありますが、それらは今後検討協議会の中で具体的に検討していきます。

今までは検討協議会の中でも、委員によって抱いているイメージが様々で、統一するのに時間もかかり納得する方向性を提案するのも苦労しましたが、最終的に目指すところは学校から切り離して地域にお願いをすることです。ただし当面の間は、学校の部活動の体制を活用しながら進めていこうと考えています。様々な御意見があると思いますが真摯に受け止めながら進めていきたいと思っています。

寺井学校教育課長から補足等ありますでしょうか。よろしければ3回目の会議の様子をお聞かせください。

(寺井学校教育課長)

これまで検討協議会が3回ありまして、ホームページで議事録等を公開していたところですが、その点について紹介及び御理解いただき感謝申し上げます。昨年度の段階ではリーフレットで全保護者及び生徒に令和7年度までの大まかな予定をお示していたところですが、検討協議会を3回開いてやはり様々な立場からの意見や見方があり、3年での移行は難しいということでした。ある意味70年続いてきたものを変えるので相応の時間が必要だと考えております。3回目の検討協議会では今後の手順を見直したものを事

務局から提案させていただきました。報道にもありましたように、合同部活動を活動の母体として、そこから地域移行へ段階を踏むという提案させていただいたところ、各委員からも「イメージしやすい。」「運営母体が学校主体と明確であるため、地域、保護者も動きやすく手伝いやすい。」という意見がありました。一つの方向性として参会の方が納得する方向性を示せたのではないかと感じています。会議の中で次の段階として合同部活動はどのように組むのか、どういう組み方が可能なのか等についてはこれから決めていく必要があるだろうという話になりました。少しずつではありますが一歩ずつ進んでいる手応えを感じています。

(齋藤教育長)

補足させていただくと、今日の報道によると部活動への全員加入の自治体が39%あるということでした。当市においては、クラブ活動に行きたい生徒は行ってもよいし、必ずしも部活動に参加しなければいけないものではなく、いわゆる自由選択という形で進めています。つまり、全員加入ではないということです。部活動の地域移行は子どもたちだけでなく地域の方も関心が高いものだと認識しており、それに対して事務局も丁寧に分かりやすく情報を発信していく必要があると考えております。

(齋藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御質問等ありますでしょうか。

## 閉 会

これをもちまして令和5年11月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時00分閉会)